



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 イビデン株式会社

上場取引所 東 名

コード番号 4062 URL <http://www.ibiden.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 竹中 裕紀

問合せ先責任者 (役職名) 財務部長

(氏名) 佐野 尚

TEL 0584-81-3111

四半期報告書提出予定日 平成23年11月11日

配当支払開始予定日

平成23年11月21日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	140,043	△3.7	6,490	△62.8	2,577	△83.5	685	△90.1
23年3月期第2四半期	145,456	10.8	17,466	110.7	15,660	158.3	6,905	43.3

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △7,541百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △1,921百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	4.79	4.74
23年3月期第2四半期	47.74	47.18

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	402,649		259,952			63.4
23年3月期	397,580		271,249			67.0

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 255,098百万円 23年3月期 266,309百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	15.00	—	25.00	40.00
24年3月期	—	15.00			
24年3月期(予想)			—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注2) 現時点では期末における配当予想額は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	296,000	△2.9	13,000	△61.6	8,300	△75.3	3,300	△83.3	23.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	150,860,557 株	23年3月期	150,860,557 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	7,769,380 株	23年3月期	7,768,937 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	143,091,298 株	23年3月期2Q	144,656,126 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的である判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する情報	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災に伴うサプライチェーンの混乱も終息に向かい、個人消費にも持ち直しの兆しが見られました。一方、欧米の債務危機に伴う市場不安から世界経済の減速感が強まり、歴史的な円高水準とともに企業をとりまく経営環境は日を追うごとに厳しさが増してまいりました。

半導体・電子部品業界におきましては、スマートフォンやタブレット型携帯端末の需要が世界的に拡大し急成長を続けておりますが、反対にパソコン市場はそのあおりを受けて成長が鈍化し、在庫調整も重なり大幅な減産となりました。

自動車排気系部品業界におきましては、欧米および新興国市場は底堅く推移し、また国内市場は、震災で打撃を受けたサプライチェーンが立ち直り、回復基調が鮮明になってまいりました。

このような情勢のもと、当社グループでは、連結中期経営計画の基本方針を基に、全社全部門において事業の構造改革に取り組んでまいりました。具体的には、当社の強みが活かせる高付加価値製品にビジネスの舵を切るとともに、グローバルな最適地生産体制の構築を進めるなど、企業体質の強化に努めてまいりました。

これらの結果、当第2四半期の売上高は、1,400億43百万円と前年同期に比べ54億12百万円(3.7%)減少いたしました。営業利益は64億90百万円と前年同期に比べ109億75百万円(62.8%)減少し、経常利益は25億77百万円と前年同期に比べ130億82百万円(83.5%)減少し、四半期純利益は6億85百万円と前年同期に比べ62億19百万円(90.1%)減少いたしました。

セグメントの概況は、次のとおりであります。

## 電子事業

プリント配線板は、成長するスマートフォン市場向け製品の受注拡大に努めましたものの、受注の品種構成が高付加価値製品への移行途上であったため、売上は前年並みとなりました。

小型・薄型パッケージは、スマートフォンやタブレット型携帯端末向け製品の需要の急拡大とともに、生産能力の拡充が功を奏し、売上は大幅増となりました。

高機能・多層パッケージは、世界のパソコン市場全体の停滞に加え、次世代品への移行時期がずれたことから売上減となりました。

以上により、電子事業の売上高は、787億27百万円となり、前年同期に比べ12.9%減少しました。また、同事業の営業利益は17億70百万円となり、前年同期と比べ86.8%減少しました。

## セラミック事業

ディーゼル・パティキュレート・フィルター(DPF)は、欧州の自動車市場においてディーゼル車の販売が堅調に推移したことにより売上増となりました。

触媒担体保持・シール材は、震災の影響により国内の自動車市場は低迷したものの、欧米や新興国需要は堅調に推移したことにより売上増となりました。

特殊炭素製品では、アジアにおける太陽電池市場の拡大を背景に、発電パネル向けシリコン製造装置用部材を中心に受注量が増加したことにより売上増となりました。

以上により、セラミック事業の売上高は374億5百万円となり、前年同期に比べ18.7%増加しました。また、同事業の営業利益は35億35百万円となり、前年同期と比べ14.6%増加しました。

## 建材事業

メラミン化粧板は、震災による建築工事遅延の影響を受けたものの、マンション向けキッチン扉及び収納扉の拡販に努め、前年並みの売上を確保しました。

住宅設備機器は、住宅着工数の回復を背景に太陽光発電パネルなどの環境関連部材の拡販に注力しましたが、既存製品の販売減により売上減となりました。

以上により、建材事業の売上高は93億67百万円となり、前年同期に比べ3.0%減少しました。また、同事業の営業損失は4億1百万円（前年同期は、4億71百万円の営業損失）となりました。

#### 建設事業

法面工事部門は、震災による公共工事の発注遅れの影響を受けたものの、受注量は確保し前年並みの売上となりました。造園工事部門は、民間の大型工事が完成したことにより売上増となりました。

以上により、建設事業の売上高は48億6百万円となり、前年同期に比べ8.6%増加しました。また、同事業の営業利益は5億8百万円となり、前年同期と比べ6.0%増加しました。

#### その他事業

合成樹脂加工部門は、自動車部品向け発泡樹脂製品が震災による自動車生産縮小の影響を受け、売上減となりました。農畜水産物加工部門は、即席めんの震災需要を背景に乾燥食材の引き合いが増加したことにより売上増となりました。

以上により、その他事業の売上高は、97億37百万円となり前年同期に比べ2.1%増加しました。また、同事業の営業利益は4億99百万円となり、前年同期と比べ9.1%減少しました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、前連結会計年度末に比べ50億69百万円増加しました。主な増減としては、現金及び預金が73億29百万円、有価証券が88億66百万円それぞれ増加し、受取手形及び売掛金が118億87百万円減少しております。

負債では社債が400億円増加し、支払手形及び買掛金が107億99百万円、未払法人税等が87億30百万円それぞれ減少しております。また純資産は、配当金の支払いによる利益剰余金の減少や、為替換算調整勘定の減少などにより、112億96百万円減少しました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年8月2日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成23年10月27日）公表の「平成24年3月期第2四半期連結累計期間の予想値と決算値との差異および通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報（その他）に関する情報

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算・・・見積実効税率を利用して税金費用を計算する方法によっております。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	66,982	74,311
受取手形及び売掛金	56,348	44,460
有価証券	27,317	36,184
商品及び製品	11,726	13,472
仕掛品	8,297	8,893
原材料及び貯蔵品	9,786	10,241
繰延税金資産	3,394	3,406
その他	4,650	5,284
貸倒引当金	△427	△417
流動資産合計	188,075	195,838
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	66,577	63,314
機械装置及び運搬具（純額）	51,173	55,754
土地	17,813	17,759
リース資産（純額）	2,703	2,472
建設仮勘定	31,832	29,747
その他（純額）	4,016	4,078
有形固定資産合計	174,116	173,126
無形固定資産	4,398	4,787
投資その他の資産		
投資有価証券	25,012	22,770
長期貸付金	43	44
繰延税金資産	4,320	4,580
その他	2,057	1,892
貸倒引当金	△443	△389
投資その他の資産合計	30,990	28,897
固定資産合計	209,505	206,811
資産合計	397,580	402,649

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	47,570	36,771
短期借入金	18,385	18,402
未払金	19,043	19,124
未払法人税等	9,302	572
繰延税金負債	17	19
賞与引当金	3,835	3,631
役員賞与引当金	257	—
設備関係支払手形	6,724	4,373
その他	8,846	8,068
流動負債合計	113,982	90,963
固定負債		
社債	—	40,000
長期借入金	5,078	5,034
リース債務	1,384	1,164
再評価に係る繰延税金負債	179	179
退職給付引当金	766	491
役員退職慰労引当金	711	607
繰延税金負債	2,803	2,825
負ののれん	3	1
その他	1,421	1,429
固定負債合計	12,348	51,733
負債合計	126,331	142,697
純資産の部		
株主資本		
資本金	64,152	64,152
資本剰余金	68,331	68,331
利益剰余金	179,076	176,184
自己株式	△30,640	△30,641
株主資本合計	280,920	278,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,076	782
繰延ヘッジ損益	△20	—
土地再評価差額金	48	48
為替換算調整勘定	△16,715	△23,759
その他の包括利益累計額合計	△14,611	△22,928
新株予約権	1,376	1,216
少数株主持分	3,563	3,636
純資産合計	271,249	259,952
負債純資産合計	397,580	402,649

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	145,456	140,043
売上原価	104,690	109,104
売上総利益	40,765	30,938
販売費及び一般管理費	23,299	24,447
営業利益	17,466	6,490
営業外収益		
受取利息	82	141
受取配当金	251	285
負ののれん償却額	42	1
持分法による投資利益	70	—
その他	363	406
営業外収益合計	811	835
営業外費用		
支払利息	138	134
設備賃貸費用	8	11
持分法による投資損失	—	89
為替差損	1,116	4,015
休止固定資産減価償却費	720	—
その他	633	497
営業外費用合計	2,617	4,748
経常利益	15,660	2,577
特別利益		
固定資産売却益	3	22
補助金収入	87	27
貸倒引当金戻入額	132	—
新株予約権戻入益	297	359
前期損益修正益	0	—
その他	18	0
特別利益合計	539	409
特別損失		
固定資産除却損	374	167
減損損失	491	0
投資有価証券評価損	550	17
前期損益修正損	9	—
その他	47	14
特別損失合計	1,474	199
税金等調整前四半期純利益	14,726	2,787
法人税等	7,699	2,004
少数株主損益調整前四半期純利益	7,026	783
少数株主利益	121	97
四半期純利益	6,905	685



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	7,026	783
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△2,345	△1,301
繰延ヘッジ損益	△7	20
為替換算調整勘定	△6,594	△7,043
その他の包括利益合計	△8,948	△8,324
四半期包括利益	△1,921	△7,541
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△2,028	△7,631
少数株主に係る四半期包括利益	107	90

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報等

[セグメント情報]

前第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日至平成22年9月30日）

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	90,337	31,501	9,657	4,424	135,920	9,536	145,456
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	23	21	2	5,368	5,416	2,673	8,090
計	90,360	31,522	9,659	9,793	141,336	12,209	153,546
セグメント利益又は損失(△)	13,397	3,085	△471	480	16,491	549	17,041

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	16,491
「その他」の区分の利益	549
セグメント間取引消去	△31
全社費用及び利益(注)	457
四半期連結損益計算書の営業利益	17,466

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

## ③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

全社資産である遊休資産について、帳簿価額を回収可能価額まで減額しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期累計期間においては491百万円であります。

当第2四半期連結累計期間（自平成23年4月1日至平成23年9月30日）

① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	電子	セラミック	建材	建設	計		
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	78,727	37,405	9,367	4,806	130,306	9,737	140,043
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	10	17	18	5,954	6,001	3,423	9,424
計	78,737	37,422	9,386	10,760	136,307	13,161	149,468
セグメント利益又は損失(△)	1,770	3,535	△401	508	5,414	499	5,913

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、合成樹脂加工業、農畜水産物加工業、石油製品販売業、情報サービス等の各種サービス業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算計上額との差額及び当該差額の内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	5,414
「その他」の区分の利益	499
セグメント間取引消去	15
全社費用及び利益(注)	561
四半期連結損益計算書の営業利益	6,490

(注) 全社費用及び利益は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費や電力利益であります。

③ 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

特記すべき事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

特記すべき事項はありません。